

# いくぶん



第26号 2021.8

平素は育児文化研究センターの活動に対して温かいご指導・ご支援を賜りまして心よりお礼申し上げます。

今日の社会情勢は変化しており、それに伴い、子育て環境や子育て支援のあり方も変わりつつあります。当センターの役割も変化が求められる時代が来ているのかもしれませんが。この度この便りを書くに当たり、平成16年(2004年)のセンター開設当初の便りを読み返しました。そこには「地域の保育・教育・児童福祉に携わる人、また、若い保護者の方々と協働し、日々の保育活動の中で起こる戸惑いや悩みを大学の教員や専門家と共に考える場となるよう」とセンター開設時の志が記載されておりました。このモットーは骨子として持ち続けていながら、具体的な事業内容を一つずつ時代と照らし合わせていきたいと考えています。

さて、今年度よりこの「いくぶん」を一部リニューアルし、子ども学科の活動内容も紹介させていただきます。地域での活躍を夢見ている学生たちの学内での活動内容や学びの姿をご覧ください機会となるかと思えます。

今後とも当センター並びに子ども学科へのご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

育児文化研究センター長 青木信子

## たんたんくらぶ

「たんたんくらぶ」は、学生がひろばのお手伝いをしながら保育や子育て支援を学ぶ『おやこひろば応援サークル』です。昨年度の11月のホリデーひろばでは、親子が楽しんで作れるようなクリスマスリース作りの準備をし、当日もお手伝いをしながら一緒に楽しい時間を過ごしました。3月には、「おおきなかぶ」の劇を披露して親子を楽しませてくれました。ひろばの親子の様子に実際に触れたり、行事の準備のための制作など学生の実践的な学びにつながっています。特に子育て中の親子の様子を実際に感じ、保護者のかかわり方を知り、一緒に話をすることは保育者を目指す学生にとっては子育て支援について学ぶ機会となっています。

今後も、おやこひろばの参加者に喜んでもらえるような内容を、学生が主体的に企画や実践を行い、学びのあるサークルにしていきたいと考えています。

### 学生の声

私たちは、ひろばのお手伝いとして季節に合わせた製作の準備や絵本の読み聞かせ、劇の上演など様々な活動をしています。中でも昨年印象に残っていることは、参加していた小さい子が初めて立って歩くことができたという瞬間に出会うことができたことです。子どもの成長を周りの親子やスタッフと一緒に喜びあい、温かい雰囲気にあふれた場であることを感じました。また、私たちが準備したリースづくりの木の实などの材料に関心を持ってきて楽しんで製作してもらっている姿が嬉しく、ひろばを利用する親子が笑顔になれる物を企画したいという意欲につながりました。(大塚愛純/2年生)

おやこひろばの活動に参加し、特に印象に残っているのは、お母さんや子どもたちに「おおきなかぶ」の劇を見てもらったことです。初めはとても緊張していましたが、子どもたちがお母さんと一緒に「うんとこしょ、どっこいしょ」と掛け声をしながら楽しんでくれている様子を見て安心し思いっきり演じることができました。おやこひろばの活動は、たくさん子ども達と関われるだけでなく、親子の様子を見ることができたり、お母さんたちともお話ができたりして、子育てについて話が聞ける貴重な経験ができています。(浦 真唯子/2年生)





上手にすべったね～



僕にもお話聞かせて!



かわいいカタツムリ作りたいな～



ポンポンはねてもへいきだよ!

# おやこひろば たかたん 3年度

2021年度の「おやこひろば たかたん」は、これまでの月・木開催のひろばから、月曜のみの開催でスタートしました。0歳からの未就園の子どもと、その保護者が集まり交流を深めています。年齢の幅が広がったことで「こんなに小さい時があったんだよね」と振り返って懐かしんだり、「こんな事が出来るようになるんですね」と、少し先の我が子の成長を楽しみにしたりする保護者の会話が聞こえてくるようになりました。

また木曜日には、短大の森で自然の中での遊びを体験する「森のひろば」や、高田短期大学以外の施設で、周辺地域の親子が交流できる場「新町会館のひろば」の日を設けました。

年間の開催日数は減りましたが「開催してもらえただけで助かります」という保護者の声に応え、親子が安心して過ごせる場を提供し、地域の子育て家庭を応援していきたいと思えます。



ご飯できたよー!



森で短大のお姉さんたちが  
絵本を読んでくれたよ!



学長先生 ほんちゃんはんの  
お話おもしろいね



一緒にあそびましょ♪



うわっ 大きなダンゴ虫!



おやこひろば、出張しました  
(会場：新町会館)

2021年度  
おやこひろば たかたん  
「土曜ひろば」

土曜日に親子で参加できるひろばを開催します。  
遊び お話 お楽しみください。

7月17日(土) 10時～12時 <7/1～受付開始>  
11月6日(土) 10時～12時 <10/1～受付開始>

利用料は無料です  
対象・・・未就学児の親子

要予約 先着 親子合わせて30人まで(1家族4名まで)  
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、中止または変更になる場合があります。ご理解、ご協力をお願いします。

申込方法  
「おやこひろば」の申し込みフォームとして  
(1)お名前 参加される保護者とお子さま(年齢も記載)  
(2)連絡先 メールアドレスと電話番号(連絡が取れる番号)  
以上を [okuhiruba@akademi-jc.ac.jp](mailto:okuhiruba@akademi-jc.ac.jp) まで送付してください

コロナウイルス感染症拡大防止の為、「おやこひろば」の利用方法に変更があります。「土曜ひろば」利用時も同様となりますので、参加者の皆さんには、後日に通知いたします。よろしくお願ひします。

通常のひろばの様子出炉(<https://www.takada-jc.ac.jp/takatan/>)をご覧ください

## 子育て相談 10/3月

地域への子育て支援事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の「子育て相談」を予約制で行っています。担当は本学育児文化研究センター研究員です。相談日、申込はホームページをご覧ください。

相談内容	担当者	2021年度 基本相談日
発達相談	千草 篤磨	第4月曜日 14時(開催場所:報徳園)
子どもの健康	長倉 里加	第2月曜日 11時
就学前教育	青木 信子	第4水曜日 13時
小学校教育	権部 良子	第1水曜日 10時30分

## 子育て講座 8/2月

おやこひろば たかたんでは月1回「子育て講座」を開催しています。今年度後半も親子一緒に活動する講座と親子分離による講座を企画いたしました。詳しくはホームページをご覧ください。(※)親子分離の講座となります。

日時	テーマ	講師
8月19日(木)	仏典童話を味わおう※	松山 智道
9月16日(木)	知って安心! 「つまるとあぶないたべものはなし」※	長倉 里加
10月11日(月)	親子で楽しもう!ふれあい遊び	小菅千恵子
11月15日(月)	子どもとたのしみ	河内 純子
12月13日(月)	みんなで遊ぼう	金森まさ子
1月17日(月)	親子で楽しむリズム遊びと手品	稲田 直子
2月17日(木)	子育てが楽しくなる絵本の力※	岩附 啓子

## みえこどもの城と高田短期大学 連携協定事業



音楽担当教員のゼミでは、2017年度より、学生とプロの演奏家とのコラボで「親子で作ろう! ダンボールカホン」のイベントを行っています。カホンという木箱型の楽器をダンボールで作り、完成後は皆で一緒に演奏します。世界に一つだけのマイカホン、皆さんも作ってみませんか。



学びいっぱい

夢いっぱい

## 子ども学科活動紹介

### 自然のなかで 心動く体験を!

「短大近隣の山を学びのフィールドに!」と願い続け、2021年度春には、風を感じ、鳥の声や木々の心地よい揺らぎに心癒される空間に拓かれました。フィールド開拓の目的は、自然のなかでの経験や取組みを通して「自然保育」の学びにつなげたい、ということです。今年度は主にゼミ活動としてこのフィールドを活用することとし、福西ゼミもテーマを「自然・子ども・保育」として取組みを始めました。1年生は、まず森を散策し、葉っぱ集めをしました。いろいろな形、色の葉っぱがあることの発見と、その葉っぱを障子紙に貼り付けるだけで素敵なアートとなったことに心動かされました。2年生は、たくさん伐採した竹の活用として、ツリーチャイム創作をしました。のこぎりや電動ドリル等の道具の使い方、竹の長さや太さによる音の違いを体感する活動となりました。



葉っぱでアート



トトロみたい



ツリーチャイム

### つくろう おどろう たのしもう! 2021

昨年は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった新入生宿泊研修でしたが、今年は、本学講堂で実施することができました。この研修は、入学間もない学生にとっては、教員やゼミ生との親睦を深め、短大での新生活をスタートさせるには良い機会となっています。

研修では、子ども学科恒例の創作ダンス発表会「つくろう おどろう たのしもう! 2021」を開催し、12ゼミが元気いっぱいのオリジナルダンスと、初めて目にする不織布やお花紙などを使い、音楽のイメージに合わせた手作り衣装を披露しました。一日だけの創作活動でしたが、発表後は、教員や仲間との距離がグッと縮まり、一緒に写真を撮る姿も見られました。仲間と支え合いながら、憧れの保育者になれるよう頑張りたいと思います。



七色のお花紙で虹を表現



えんどう豆、髪にはつるもあります

## 新入会研究員の紹介



今年度4月より高田短期大学子ども学科に着任し、育児文化研究センターにも参加させていただくことになりました。授業では造形関係を担当しております。造形表現に立脚しつつ、子どもの遊びや文化にも視野を広げたいと考えています。育児のための専門のセンターもさることながら、大学の構内に森があるという環境に大変驚きました。木々のなかでハンモックやブランコ遊びができ、さらに竹や木材で作業もできるなど、楽しく遊べるのがたくさんあると感じました。森での自然体験や遊び、製作など、色々と挑戦してみたいと思っています。微力ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。(亀澤朋恵)



これまで、幼稚園と小学校で勤務し、たくさんの親子と出会ってまいりました。目の前の幼児や児童、そして保護者の方々のそれぞれの思いにまずは寄り添い、お互いの考えを出し合うことの大切さを感じた日々でした。このほど、保育者を目指す学生さんたちの学びやこの育児文化研究センターに研究員として参加の機会を得ることができましたことをとても嬉しく思っております。子どもをめぐる課題は、日々変化しています。皆様と一緒に考えを出し合う中で、育児文化研究センターの取り組みを前進させていけるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(権部良子)



今年度から育児文化センター研究員として、参加させていただくことになりました。私は、今まで、公立幼稚園・附属幼稚園に勤務した経験があり、子どもたちの遊びと生活を大事にしてきました。また、様々な保護者の方の思いを聞かせていただきました。最近では、附属幼稚園の未就園児の会や公立小学校、特別支援学校などにも伺う機会をいただいています。そして今、「人が生涯をかけて幸福感を持ちながら暮らしていくことを支えたい」という大きな願いを持ちながら、自分にできることは何だろうと探っているところです。センターの皆様には学ばせてもらいながら、子どもと子どもに関わる人々のために、微力ですが努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(河内純子)



4月より、高田短期大学キャリア支援センターで勤務しています。今年度から、育児文化研究センターの研究員として参加させていただくことになりました。長年、乳幼児教育に携わり、保育士、園長等として働いてきました。子どもは、国の宝です。親子の幸せを願い、これまでのキャリアを生かして研究員の皆様と交わり、子育て支援、地域子育て、育児教育等について、微力ではありますが、よりよい支援や研究ができるように努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(中森ちのり)

## 津市委託事業

### 子育てママの「ホッと」ひろば事業

子育て中のお母さん同士が、日ごろ思っていることを何でも話せる集まりです。臨床心理士である講師のサポートを通して実施しています。

会場：高田短期大学 講師：橋本景子

- |     |           |             |            |
|-----|-----------|-------------|------------|
| 第1回 | 8月24日(火)  | 10:00~12:00 | 対象：未就園児保護者 |
| 第2回 | 10月12日(火) | 10:00~12:00 | 対象：就学児保護者  |
| 第3回 | 11月20日(土) | 10:00~12:00 | 対象：未就園児保護者 |
| 第4回 | 2月27日(日)  | 10:00~12:00 | 対象：未就園児保護者 |

### 第57回定例研究会

第57回定例研究会を10月29日(木)に開催しました。古川久美子研究員より「自発的にあそぶ子どもを育む環境-Y市保育園・幼稚園における取組から-」と題して、子どもが主体的に周りの環境と関わりながら、心動かされる体験や遊びができる園の保育環境について、就学を意識した環境づくりなどY市内の多くの園の具体的な写真を交えて紹介がありました。参加者からも取り組んできた保育環境づくりについての紹介や地域による特徴など活発な意見交換が行われました。



第59回定例研究会は7月6日(火)、第60回は10月28日(木)、第61回は令和4年2月7日(月)を予定しております。

### 第58回定例研究会

第58回定例研究会を2月8日(月)に開催しました。長倉里加研究員より「求められる子育て支援をさぐる(1)-妊婦のアンケート調査を通して-」と題して、本センターのグループ研究第1「子育て支援ひろばについて」が取り組んだ妊婦を対象とした妊娠期、乳児期、幼児期に求められる子育て支援についての調査研究の報告がありました。各グループで活発な意見交換がなされ、全体共有により子育て支援について研鑽を深めることができました。



### 前期センター会議

前期センター会議を5月12日(水)に開催しました。津市こども支援課より「子育て支援に関する津市の取り組み」という主旨で、本センターが津市委託事業として8年間取り組んできた「つながりひろば」に関する成果報告と、子育てに関する切れ目のない支援を行うための総合相談窓口である子育て世代包括支援センターの取り組みについての紹介いただきました。会議後半は、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画、グループ研究等について報告がありました。



後期センター会議は、12月3日(金)を予定しております。

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学  
育児文化研究センター  
〒514-0115  
三重県津市一身田豊野195  
TEL.(059)253-7020(センター直通)  
(059)232-2310(代表)  
FAX.(059)232-6317  
Mail ikibun@takada-jc.ac.jp

